

- 問1 ある都市の統計において、夏季の降水量が非常に少なく、冬季に雨が集中する気候が確認されました。この地域で行われる農業において、季節ごとの生産品目の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2014年 兵庫県公立入試 類似)
1. 夏季にオリーブなどの果樹を栽培し、冬季に小麦を栽培する
 2. 夏季に米の栽培を行い、冬季に裏作として大麦や菜種を栽培する
 3. 夏季に牧草地で牛を放牧し、冬季に牛舎で飼料を与えて育てる
 4. 夏季に小麦を栽培し、冬季にブドウやオレンジなどの果樹を収穫する
- 問2 ヨーロッパ南部の地中海沿岸地域で見られる、夏の乾燥に強いオリーブやブドウなどの果樹栽培と、比較的雨の多い冬の気候を利用した小麦栽培などを組み合わせた農業形態を何といいますか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
1. 地中海式農業
 2. 遊牧
 3. プランテーション農業
 4. 焼畑農業
- 問3 各国の電源構成において、発電量全体に占める割合がフランスでは原子力が約七割弱と最も多く、日本では火力が約七割弱と最も多くなっているという統計があります。このようなフランスと日本の電源構成の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
1. フランスと日本はともに、太陽光や風力などの再生可能エネルギーが発電量の七割以上を占めている。
 2. フランスは火力発電を主な電源としているが、日本はアルプス山脈のような地形を活かした水力発電が中心である。
 3. フランスは原子力発電を主力としているが、日本は石炭や天然ガスなどをを用いる火力発電を主力としている。
 4. フランスは水力発電が電源の約七割を占めるが、日本は原子力発電を最も主要なエネルギー源としている。
- 問4 EU（欧州連合）の加盟国間で見られる、一人あたりの国民総所得や経済発展レベルの不均衡について説明した文章として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
1. 2000年代以降に加盟した東ヨーロッパの国々は、西ヨーロッパの国々と比較して経済発展が遅れており、大きな経済格差が生じている。
 2. EU加盟国はすべて共通通貨であるユーロを導入しているため、通貨の安定によって加盟国間の経済的な不均衡はすでに解消されている。
 3. EU発足以来、イギリスなどの主要な国が離脱した事例は一度もなく、すべての加盟国が緊密に連携して均一な経済水準を保っている。
 4. EUは域外の国々に対しても関税を一切撤廃する政策をとっているため、世界全体との自由な貿易によって加盟国間の所得差はなくなっている。
- 問5 イタリアを含む多くのヨーロッパ連合（EU）加盟国が、自国の独自の通貨を廃止して共通通貨「ユーロ」を導入した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
1. 加盟国が独自に通貨を発行する権利を強化し、各国の経済的自立を促すため
 2. ヨーロッパ以外の地域との貿易を制限し、域内だけの鎖國的な経済圏を作るため
 3. 国ごとの為替相場の変動による経済的なリスクをなくし、域内の貿易を活性化させるため
 4. 全ての加盟国がイギリスの通貨であるポンドに統一することで、金融市場を安定させるため
- 問6 イタリアなどの地中海沿岸部では、10月から11月にかけて種をまき、冬を越して翌年6月に収穫する「小麦」の栽培が盛んに行われています。この地域で、夏の時期を避けて冬から春にかけて小麦を栽培する理由として最も適切な説明はどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 夏の時期は非常に気温が低く小麦の成長に適さないため、比較的温暖な冬の期間を利用して栽培するため。
 2. 夏の時期は雨が極端に少なく乾燥するため、比較的雨が得られる冬の間に成長させ、本格的な乾燥期を前に収穫するため。
 3. 夏の時期は降水量が非常に多く洪水が発生しやすいため、その被害を避けるために冬から春にかけて栽培するため。
 4. 夏の時期は日照時間が極端に短く光合成が十分にできないため、太陽高度が変化する冬の時期を選択して栽培するため。
- 問7 ヨーロッパで話されている主要な言語は、その成り立ちから大きく3つの系統に分類されます。英語やドイツ語などが属する「ゲルマン系」、ロシア語やポーランド語などが属する「スラブ系」に対し、イタリア語やスペイン語、フランス語などが属する系統の名称として正しいものを選択してください。 (2023年 京都府公立入試 類似)
1. ラテン系
 2. ギリシャ系
 3. スラブ系
 4. ゲルマン系
- 問8 世界各地の経済状況を比較した際、ドイツと南アフリカ共和国、ブラジルを比較する指標として用いられる「1人あたりの国民総所得（GNI）」や「輸出品目」の傾向から推察される内容として正しいものはどれですか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
1. 南アフリカ共和国は、ドイツよりも一人あたり国民総所得が高く、主な輸出先はアフリカ周辺国に限られる。
 2. ドイツ、南アフリカ共和国、ブラジルの3国は、いずれも1人あたりの国民総所得が同水準であり、主要な輸出品目も一致する。
 3. ブラジルは、南アフリカ共和国と比較して工業化の歴史が浅いため、工業製品の輸出は行われていない。
 4. ドイツは一人あたり国民総所得が高く、先端技術を用いた工業製品の輸出が中心である。
- 問9 ヨーロッパの北部や東部の統計において、穀物栽培と家畜の飼育が組み合わされている「混合農業」の仕組みや特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 富山県公立入試 類似)
1. 夏の乾燥に強いオリーブやブドウなどの果樹栽培と、冬の降水を利用した小麦栽培を組み合わせる。
 2. 家畜の糞尿を肥料として耕地に還元し、穀物栽培と家畜の飼育を循環させて行う。
 3. 季節による気温の変化に合わせ、家畜を夏は高地の牧草地へ、冬はふもとへの平地へと移動させる。
 4. 大都市への出荷を目的として、冷涼な気候を活かし乳牛の飼育と乳製品の加工に特化する。
- 問10 世界の諸地域の産業について述べた文のうち、ドイツの日本に対する輸出品目の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
1. 豊かな熱帯の気候を活かして、カカオ豆やバナナなどの特定の農産物に依存した輸出構成となっている。
 2. 高度な工業技術を背景に、乗用車や医薬品、一般機械といった化学・機械工業製品が中心となっている。
 3. 広大な土地と機械化された農業背景に、小麦やトウモロコシなどの穀物が輸出の大部分を占めている。
 4. 安価な労働力を背景に、衣類や身の回り品などの軽工業製品が輸出額の半分以上を占めている。
- 問11 ヨーロッパの言語や文化の境界線について説明した次の文の空欄にあてはまる組み合わせを選びなさい。「ヨーロッパでは（X）山脈付近を境に、北側と南側で言語グループが異なる。南側の地域では古代ローマの影響を受けたラテン系言語が普及しており、農業面では（Y）を活用した栽培が特徴的である。」 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. X：スカンディナビア
Y：フィヨルド地形
 2. X：ピレネー
Y：内陸部の寒冷な気候
 3. X：アルプス
Y：地中海沿岸の夏の乾燥した気候
 4. X：アルプス
Y：北海沿岸の偏西風と暖流
- 問12 北アメリカ大陸の東岸から大西洋を横断するように北東へ流れ、イギリスやスカンジナビア半島の沿岸に至る、ヨーロッパ北西部の気候に大きな影響を与える暖流の名称を答えなさい。 (2021年 山口県公立入試 類似)
1. 北大西洋海流
 2. リマン海流
 3. メキシコ湾流
 4. カリフォルニア海流

答え合わせ・解説

問1	答え 1 夏季にオリーブなどの果樹を栽培し、冬季に小麦を栽培する	地中海式農業では、気候の周期に合わせて栽培する作物を選定しています。夏は強い日差しと乾燥に耐えられるオリーブ、ブドウ、オレンジといった果樹が育てられ、比較的雨の多い冬には、その水分を利用して小麦などの穀物が栽培されます。この合理的な組み合わせにより、厳しい乾燥期を持つ地域でも安定した農業経営が可能になっています。
問2	答え 1 地中海式農業	地中海沿岸で見られる地中海性気候は、夏に乾燥し、冬に一定の降水があるのが特徴です。この気候条件に合わせ、夏には乾燥に強い「硬葉樹」と呼ばれるオリーブやブドウなどを栽培し、冬には雨を利用して小麦を育てるという、合理的で工夫された農法が発達しました。
問3	答え 3 フランスは原子力発電を主力としているが、日本は石炭や天然ガスなどを用いる火力発電を主力としている。	フランスは世界的に見ても原子力発電の割合が非常に高い国であり、統計では約68.3%に達しています。一方、日本は火力発電の割合が約68.7%と最も高く、原子力発電は約6.7%、水力発電は約8.5%にとどまっています。国によって資源の有無や政策方針が異なるため、電源構成には大きな違いが見られます。
問4	答え 1 2000年代以降に加盟した東ヨーロッパの国々は、西ヨーロッパの国々と比較して経済発展が遅れており、大きな経済格差が生じている。	EU（欧州連合）は、もともと経済発展の進んでいた西ヨーロッパの国々を中心に発足しましたが、2000年代以降に旧社会主義体制だった東ヨーロッパの国々が多く加盟しました。これらの国々は西側諸国と比較して1人あたりの国民総所得（GNI）が低く、加盟国間での経済格差が深刻な課題となっています。共通通貨ユーロについては、デンマークやスウェーデンのように導入していない国もあり、すべての加盟国が導入しているわけではありません。
問5	答え 3 国ごとの為替相場の変動による経済的なリスクをなくし、域内の貿易を活性化させるため	共通通貨ユーロの導入前は、国ごとに通貨が異なっていたため、為替レートの変動が貿易の妨げになることがありました。ユーロの導入によって為替変動のリスクがなくなり、価格の比較も容易になったことで、人・もの・資本の移動が自由で活発な巨大な単一市場が形成されました。なお、全てのEU加盟国がユーロを導入しているわけではなく、独自の通貨を維持している国もあります。
問6	答え 2 夏の時期は雨が極端に少なく乾燥するため、比較的雨が得られる冬の間に成長させ、本格的な乾燥期を前に収穫するため。	イタリアなどが属する地中海性気候の最大の特徴は、「夏季に雨が少なく乾燥し、冬季に一定の降雨がある」という点です。主食となる小麦は、乾燥に強い性質はありますが、成長には一定の水分が必要です。そのため、雨が降る冬の間に成長させ、完全に乾燥してしまう夏が来る前に収穫するという合理的なサイクルが成立しています。一方で、夏には乾燥に強いオリーブやブドウなどの樹木作物の栽培が行われます。
問7	答え 1 ラテン系	ヨーロッパの言語は、北西部のゲルマン系、南部のラテン系、東部のスラブ系の3つに大きく分けられます。ラテン系は古代ローマ帝国で使われていたラテン語を起源としており、イタリア、スペイン、フランスなどの国々を中心に広がっています。これに対し、英語はドイツ語などと同じゲルマン系に分類されます。
問8	答え 4 ドイツは一人あたり国民総所得が高く、先端技術を用いた工業製品の輸出が中心である。	1人あたりの国民総所得は、国の経済的な豊かさを示す指標の一つであり、先進工業国であるドイツは新興国のブラジルや南アフリカ共和国に比べて大幅に高い数値を示します。また、ドイツの輸出構造は研究開発に基づく高度な機械工業に支えられている点が、資源輸出に依存する側面が強い他の2国との明確な違いです。
問9	答え 2 家畜の糞尿を肥料として耕地に還元し、穀物栽培と家畜の飼育を循環させて行う。	混合農業は、家畜を飼育することで得られる堆肥を穀物生産の肥料として利用し、生産された穀物の一部を家畜の飼料にするという循環型の仕組みを持っています。これは、もともと土壌があまり肥沃ではなかったヨーロッパ北部などの地域で、土地の力を維持しながら多角的な経営を行うために発展しました。
問10	答え 2 高度な工業技術を背景に、乗用車や医薬品、一般機械といった化学・機械工業製品が中心となっている。	ドイツは「ヨーロッパの工場」とも呼ばれるほど工業が発達しており、特に自動車産業や化学工業、機械工業が世界的に強い競争力を持っています。日本への輸出額の内訳（約6,272億円）を見ても、乗用車（約24%）や医薬品（約18%）などの工業製品が上位に並びます。これに対し、特定の農産物に頼る経済構造はモノカルチャー経済と呼ばれ、アフリカや東南アジアの一部で見られる特徴です。
問11	答え 3 X：アルプス Y：地中海沿岸の夏の乾燥した気候	アルプス山脈はヨーロッパにおける大きな地理的・文化的境界となっており、その南側にはラテン系言語圏が広がっています。この地域は地中海性気候に属し、夏に雨が少なく乾燥するため、その気候に適応した地中海式農業が発展しました。オリーブなどの樹木作物の栽培は、この気候的背景と密接に関わっています。
問12	答え 1 北大西洋海流	北大西洋海流は、メキシコ湾流から続く暖流で、北アメリカ東岸から大西洋を渡ってヨーロッパ北西部へと流れます。この海流は周辺の海域に温かい海水を運ぶため、高緯度にあるヨーロッパ北西部の気温を高く保つ要因となっています。